

BIM/CIM データの登録 (BIM/CIM フォルダへの資料等の登録)

電子納品要領のフォルダ構成における位置関係は、下図のとおりで、BIM/CIM 活用業務の成果品は、電子納品要領 (国土交通省) のフォルダ構成におけるルート直下に「BIMCIM」フォルダを作成し格納します。

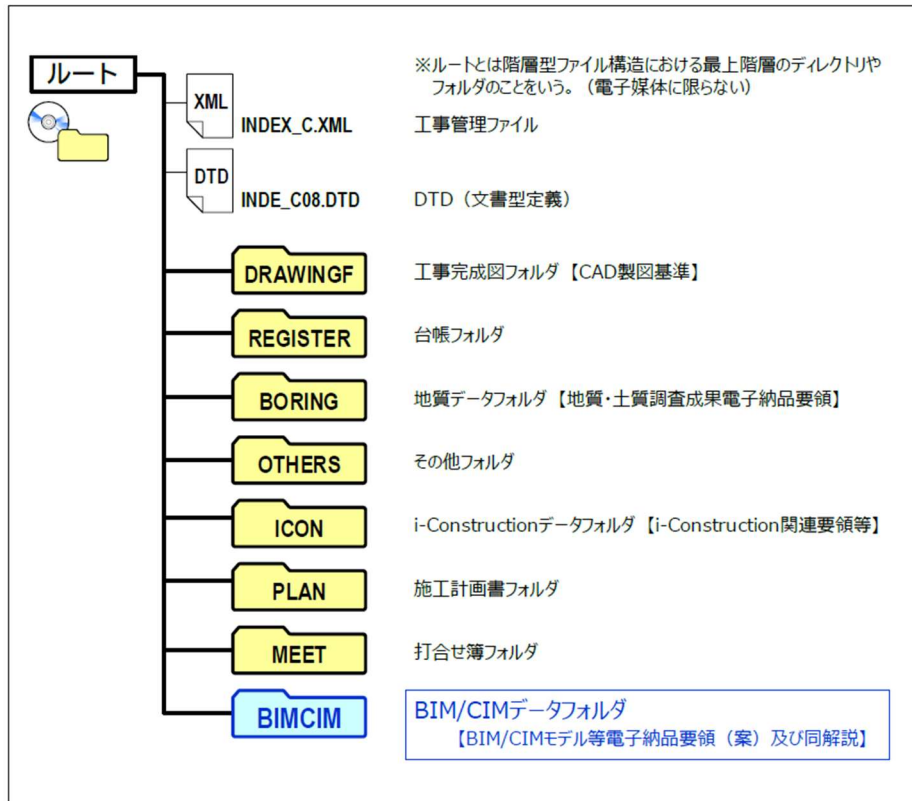


図 1-3 工事完成図書の電子成果品のフォルダ構成での BIM/CIM データフォルダの位置関係

※「BIM-CIM モデル等電子納品要領 (案) 及び同解説 (R0403)」から引用

作成する BIM/CIM モデル等は、「BIM/CIM 活用業務又は BIM/CIM 活用工事の特記仕様書やリクワイヤメントに基づき、活用目的に応じてその都度、受発注者間協議により決定する」とされています。

BIM/CIM モデルは、3次元モデルと属性情報、参照資料の組合せにより構造物等の形状や諸元を示すもので以下のとおり例示されています。

- ① BIM/CIM モデル照査時チェックシート、BIM/CIM モデル作成 事前協議・引継書シート、BIM/CIM 実施計画書、BIM/CIM 実施 (変更) 計画書、BIM/CIM 実施報告書等
- ② BIM/CIM モデル：構造物や地形等の各 BIM/CIM モデル
- ③ 統合モデル：各 BIM/CIM モデルを統合したモデル
- ④ 動画等：イメージ画像や動画等のファイル
- ⑤ リクワイヤメント (要求事項) として特別な検討のために作成した BIM/CIM モデル

※①について

BIM/CIM 活用業務及び BIM/CIM 活用工事において納品を必須とする文書等

※②、③、④について

BIM/CIM 活用業務:測量・調査・設計の最終結果に基づいて作成した BIM/CIM モデル BIM/CIM 活用工事にあつては完成時の対象構造物等の BIM/CIM モデル

※⑤について

リクワイヤメントとして特別な検討のために作成した BIM/CIM モデル (設計-施工間の連携を目的とした 4 次元モデル、過密配筋の照査箇所の 3 次元モデル等)

各モデルの参照先は以下のとおりで、成果物モデルにおける格納データは、「BIM/CIM モデル等電子納品要領 (案) 及び同解説」の「2.フォルダ構成」を参照してください。

表 1-2 成果物モデルと要求事項モデルの違い

| BIM/CIM モデル | BIM/CIM モデル作成に係る基準要領等 | | |
|----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | BIM/CIM 活用業務 | | BIM/CIM 活用工事 |
| | 詳細設計 | 詳細設計以外 | |
| 成果物 モデル | • 3次元モデル成果物作成要領 (案) | • BIM/CIM 活用ガイドライン (案)を参考に設定 | • BIM/CIM 活用ガイドライン (案)を参考に設定 |
| 要求事項 モデル | • BIM/CIM モデルの作成方法、 ファイル形式等は規定しない | • BIM/CIM モデルの作成方法、 ファイル形式等は規定しない | • BIM/CIM モデルの作成方法、 ファイル形式等は規定しない |

※「BIM/CIM モデル等電子納品要領 (案) 及び同解説 (R0403)」から引用

成果物を格納するフォルダと種類については以下のとおりです。

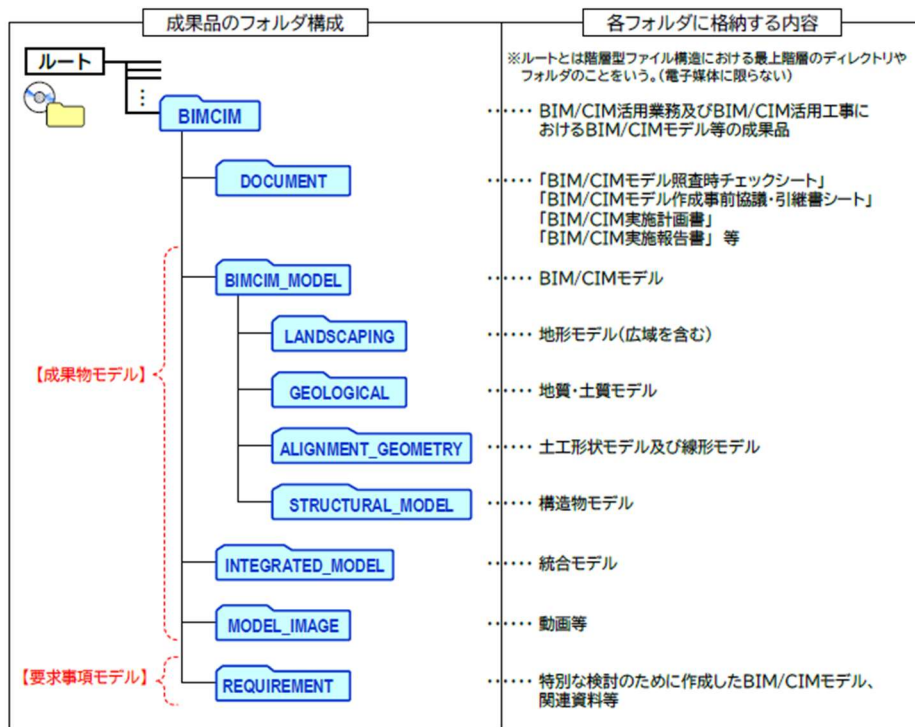


図 2-1 BIM/CIM モデル等の成果物フォルダ構成 (BIM/CIM 活用業務及び BIM/CIM 活用工事)

※「BIM/CIM モデル等電子納品要領 (案) 及び解説 (R0303)」から引用

※フォルダの作成、成果の登録方法、納品方法については、「i-Construction データの登録」と同じですのでそちらをご参照ください。